

ルールは簡単。
同じフィールドで
子どもから大人まで誰でも楽しめる
それがモルック。



新しいスポーツ

今月号はスポーツの秋にちなんで「モルック」をご紹介します。皆さんはモルックをご存じですか。簡単なルールで誰でも楽しむことができるテレビやSNSで取り上げられる機会が増え、近年広がりを見せているスポーツです。今年8月には、北海道函館市で日本で初めてモルック世界大会が開催され、日本のチームが初優勝を果たしたこともニュースとなりました。

モルックが生まれたのは、北欧の国フィンランド。伝統的なキッカというゲームを元に、1996年に開発されました。母国フィンランドでは、ビールとサウナを楽しむながらプレイされる気軽なスポーツとして親しまれています。

氷川町でのモルック

氷川町でモルックが行われるようになったのは、新型コロナウイルス感染症の流行がきっかけでした。町

民の皆さんにスポーツを楽しんでもらいたいけれど、これまでのように大人数が集まって大会を開くことが難しい。そうした状況が続く中、大津町でモルックの日本大会が開かれたというニュースを見た生涯学習課の職員が、これなら少人数で屋外で楽しめると提案したことが始まりでした。

早速道具を揃えて、スポーツ推進委員と町職員で地区や団体、学校などに出向き、普及を進めてきました。その数はこれまでに20ヶ所、参加者は500人余りになります。

現在では、町民体育祭冬季大会の種目として取り入れているほか、スポーツ推進委員協議会主催のモルック大会も年2回開催されており、参加者は回を重ねるごとに徐々に増えています。

モルックは道具さえあればすぐ始めることができます。地域で、仲間や職場で、新しいスポーツを始めませんか。

モルックの魅力・ルールを
紹介します!



特集

スポーツの秋 モルックを楽しもう!